

様式第二号の八(第八条の四の五関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画書

令和5年6月26日

都道府県知事
廣瀬 勝貞 殿



提出者

住 所 福岡市中央区那の津5丁目3番1号
氏 名 JA北九州ファーム株式会社
代表取締役社長 稔田 直輝
電話番号 092-738-2002

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	JA北九州ファーム株式会社 直入農場
事業場の所在地	大分県竹田市直入町大字長湯8572-21
計画期間	令和5年4月1日～令和6年3月31日

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

①事業の種類	01 農業
②事業の規模	豚 4,000頭
③従業員数	12人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	家畜ふん尿 : 自己堆肥化 家畜の死体 : 処理業者への委託処理

(日本工業規格 A列4番)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

統括責任者

社長

廃棄物処理方法決定

管理者

本社・管理部長

廃棄物処理に関する責任

推進者

農場長

運搬・処理業者との契約
マニフェストの保管・管理
行政への報告廃棄物排出実務責任者
マニフェストの交付・管理

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	家畜の糞尿	家畜の死体
	排出量	10865.6 t	32.64 t
(これまでに実施した取組)			
②計画	家畜ふん尿	：自己堆肥化	
	家畜の死体	：処理業者への委託	
	【目標】		
②計画	産業廃棄物の種類	家畜の糞尿	家畜の死体
	排出量	10000.0 t	30.00 t
	(今後実施する予定の取組)		
家畜ふん尿：自己堆肥化 家畜の死体：処理業者への委託			

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状

(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)

②計画

(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

【前年度（令和3年度）実績】	
産業廃棄物の種類	家畜の糞尿
自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	10865.6 t
(これまでに実施した取組)	
自己堆肥化	
【目標】	
産業廃棄物の種類	家畜の糞尿
自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	10,000 t
(今後実施する予定の取組)	
自己堆肥化	

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

【前年度（ 年度）実績】	
産業廃棄物の種類	
自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	t
自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	t
(これまでに実施した取組)	
【目標】	
産業廃棄物の種類	
自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	t
自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	t
(今後実施する予定の取組)	

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	t	t
(これまでに実施した取組)			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	t	t
(今後実施する予定の取組)			

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

① 現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	家畜の死体	
	全処理委託量	32.64 t	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	t	t
	再生利用業者への 処理委託量	32.64 t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
(これまでに実施した取組)			
処理業者への委託処理			

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	家畜の死体	
	全処理委託量	30.00 t	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	t	t
	再生利用業者への 処理委託量	30.00 t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
(今後実施する予定の取組)			
動物性飼料原料として有効活用するため、従来通り処理業者へ委託する。			
※事務処理欄			